

いつも元気いっぱい、愛嬌たっぷりの晃嘉くん。家族みんなの愛情を一身に受けて、晃嘉くんの笑顔は今日もひとときわ輝いています。

笠間 晃嘉 くん

平成 27 年 1 月生まれ
～山潟
晃大さん・仁菜さん夫婦の長男



大好きなパパとママの間でごきげんな晃嘉くん

何か面白いことはないかと、おうちの中を元気に動き回る晃嘉くん。最近の日課は、階段を上がること。「いけないことだと分かっている、一段登るたびに『誰も見てないかな』といった感じで振り返るんです」とママの仁菜さんは笑います。4世代の7人が一緒に暮らす笠間さん一家。みんな晃嘉くんのことが大好きで、少しの時間でも姿が見えないと『晃嘉は？』と尋ねてくるのだから。

仁菜さんは、そんな晃嘉くんを優しく見つめながら「やりたいことを見つけて、元気に育ってほしい」と話します。パパの晃大さんは「大きくなったら、武道をやらせたい。個人的にはプロレスラーになつてほしいのですが、家族みんなが反対するんです」と笑いました。
※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

スクールトピックス

猪苗代高生が命を支えるお手伝い



▶サンタの帽子をかぶって、献血者にケーキを手渡す長谷川さん(右から2人目)と佐藤さん(右)

猪苗代高校の生徒は12月25日、町役場を会場に行われた献血でボランティア活動に取り組みました。

「全国学生クリスマス献血キャンペーン」の一環として実施したもので、同校の生徒6人が、献血の協力者にケーキなどを手渡し、「ご協力ありがとうございます」と爽やかな笑顔で対応しました。

ボランティアに協力した長谷川莉瑚さん(1年)は「猪苗代高はボランティアが盛んなので、私も参加してみようと思った。多くの人と触れ合うことができている」と笑顔を見せました。佐藤百花さん(同)は「献血に協力してくれる人が思っていた以上に多い。機会があれば今後も協力したい」と充実した表情を浮かべていました。

血液は人工的に作ることはできず、皆さんからの尊い提供が不可欠です。今後も献血へのご協力をお願いします。

冬季は血液が不足しがちです。皆さんのご協力をお願いします。



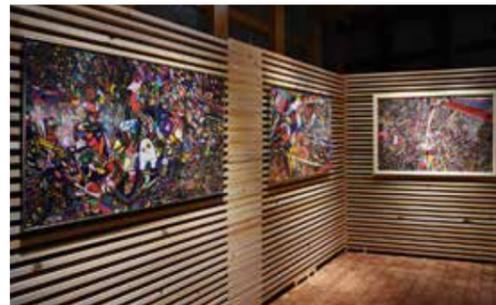
はじまりの美術館企画展

「この土地の温度を感じて」開催中



企画展初日に中ノ沢こけしについて説明する磯川さん

はじまりの美術館の企画展「この土地の温度を感じて」が昨年の12月26日に開幕しました。期間は2月29日まで。この企画展には、中ノ沢こけし工人の磯川盛雄さん(新堀向)ら、東北にゆかりのある6人の作家が出演。それぞれの個性が溢れる、バラエティーに富んだ展示が来館者の目を楽しませていきます。美術館の建物名称「十八間蔵」にちなみ、毎月18日は、猪苗代町民無料デーです。



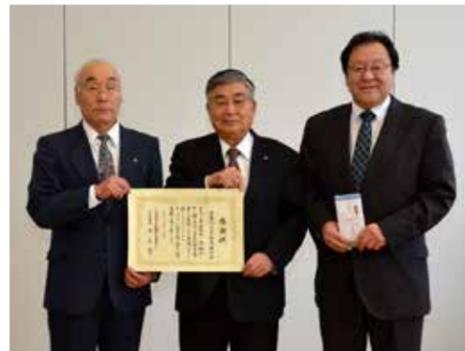
鮮やかな色彩が特徴の八重樫道代さんの作品



木を縫い合わせて制作された柵瀬茉莉子さんの作品

スクールトピックス

猪小後援会に集団古紙回収感謝状



▶前後町長に受賞を報告した笹岡後援会長(左)と菊地校長(右)

猪苗代小学校後援会は12月4日、仙台市の仙台サンプラザで行われた古紙再生促進センター東北地区委員会感謝状贈呈式において感謝状を受けました。

この感謝状は、同校後援会が中心となり、長年にわたり資源回収活動に取り組み、ゴミの減量化、リサイクルの重要性や環境問題について子どもたちと共に楽しく学んでいる功績をたたえて贈られたものです。

この資源回収活動は、平成13年4月に開始。年に4回、古紙と空き缶、空き瓶を回収していて、昨年の古紙回収量は約91トンでした。

同校の笹岡正人後援会長と菊地康則校長は12月8日、町役場を訪れ、前後公町長に受賞を報告。「今回の受賞は子どもたち、保護者会、地区委員と後援会の皆さんのおかげです。今後も資源回収を通じて地域のコミュニティを大切にしていきたいと思います」と感謝を述べました。



▶資源回収活動の様子